

# 第13回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○開催日時：令和6年12月23日（月）10:00～11:30

○開催場所：船橋市役所 11階 大会議室

○概要

対策部会にて立案された、交通安全対策および交通円滑化対策における検討結果の総括について説明し、対策案について承認された。以下に各議題における主な意見等を記す。

○議題1 交通安全対策エリアの検討結果

## 【意見】

- ・ 今回の対策エリアである宮本地区と飯山満町南地区について、千葉県移動性向上プロジェクト委員会でどのような扱いになっているかを確認し、現状の取り組みを把握する必要がある。
- ・ 狹さくの設置については、意見交換会を実施することで近隣住民に周知し、具体的な設置場所が決まり次第、個別に調整して合意形成を図る。
- ・ 宮本地区について、通り抜け車両経路が不明確であるため、広域分析が必要と考えられる。また、現状の案で中期的には実施してみる価値があると考えられるが、幹線道路と生活道路の両面で調整して可能性を見極める必要がある。
- ・ 中野木交差点は、既に立体化されているため、ハード対策よりソフト対策が好ましいと考えられる。また、周辺道路と連動していることが分かるようにしてもらいたい。
- ・ 立体化されている中野木交差点の北行きの側道から成田街道に右折する車両が多いが、右折車線は上流の近接交差点のため10台程しか滞留できない。信号のサイクルを短くして捌く頻度を上げたいが、歩行者の横断時間に影響するため簡単には解決できない状態であり、歩行者の横断方式変更等の可能性を、現在調査および分析中である。
- ・ 飯山満町南地区と県道8号の関係について、中野木交差点は立体化しているが、手前の駿河交差点でも渋滞対策ができることが好ましい。

○議題2 交通円滑化対策箇所の検討結果

## 【意見】

- ・ 古和釜十字路交差点は隣接する交差点を将来的には1つに集約する方針であり、短期対策として北側交差点の右左折レーンの追加と南側交差点の右折レーン延伸を考えている。
- ・ 古和釜十字路北側交差点の右左折レーン設置に伴い、サイクル長を短縮することで右折車のオーバーフローを緩和できる可能性がある。
- ・ 古和釜十字路交差点の長期対策の交差点改良については、交差点内に左折道流路と交通島を設置することで横断歩道を短くし、停止線を前出しすることが可能である。結果、全赤時間を短くし、横断歩行者の安全性向上にも繋がると考えられる。
- ・ 飯山満町2丁目交差点については、停止線の前出しと信号サイクルの見直しを実施済みである。今後ETC2.0プローブ情報を活用した効果検証をする際に、右折レーンの設置と都市計画道路の整備については、シミュレーション予測を行うことが好ましい。

○第14回協議会に向けて

【意見】

- ・ 令和7年1月下旬から2月上旬を目途に開催予定である。
- ・ 船橋駅北口について、現状分析と今後の検討を行うこと。
- ・ 東海神の交差点改良について、完了後の効果検証を行うこと。

○今後の予定

- ・ 次回協議会の日程については後日連絡する。
- ・ 後日ホームページにて、議事概要と資料を公表させていただく。

以上

## 【実施風景】

